

いですね。1軍の試合があれば、市外からもたくさんの人たちが苦小牧に来てくれると思います。

齊藤さん…前出さん同様に、苦小牧駅前や中心市街地に若い年代の人が少なく、活気がないと感じます。駅周辺も娯楽施設が多くなっているのです。もう少し若者向けの施設が増えるなど、若者が楽しめるような環境があれば、駅前にも人が集まって活気が出るのかなと思います。これは、駅前だけでなく苦小牧全体に言えることだとも感じています。

一町田さん…苦小牧は、小さい子どもから大人まで楽しめるところが少ないなと感じています。ショッピングや遊べる施設となると、札幌に行く人も多いので、もう少し市内でショッピングや遊べる施設が増えれば、将来子どもができたときに楽しんで暮らしていけると思います。



市長…苦小牧は、東側は若い世代が住んで発展していますが、市全体では人口が減少していますので、特に生産年齢人口をいかに流入

させるかという移住定住に向けた取り組みを行うことは課題の一つと考えています。

今、子育て世代の人たちの交流の場や乳幼児から小学生までが遊べる施設は非常に人気です。若い世代からの要望も多く、苦小牧にも子育て世代の人たちが集まる、子どもたちが遊べる施設を造ることは関心を持っています。

テーマ
4

これからの苦小牧に
期待すること

清野…皆さんさまざまな思いがあるようですが、最後にこれからの苦小牧に期待することについてお話しいただきたいと思っています。

有馬さん…苦小牧の地域活性化につながることでできたらと思いい大学に進学したので、苦小牧で暮らしていきたいと思っていますが、就職となると自分が望む職種が無いと感じています。高校生の時から地元の地域活性化というのをテーマにした部活動に入っていたので、若い人たちが過ごしやすいと思えるようなまちにしたいという意見を持っている友達が周りにたくさんいます。そういう思いを発信できる、意見を交換し合う機会をたくさんつくっていただくことで地域活性化につながることを期待します。

森田さん…苦小牧に就職した理由は、親や祖父母に世話になってきたので、地元で一緒に

